レッスン:SPA/No.73

テーマ：小宇宙としての創造のセルと色

SPA No.73/KE2000/F/7

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前回のレッスンで述べたように、大きな四面ピラミッドの下にある部屋にいる間、真理の探究者は部屋の外に出て大きな四面ピラミッドのなかにいる自分を見いだすための準備をするために、様々な素質的可能性のサイクルによって提供される助けを利用します；勿論、部屋から出て大きな四面ピラミッドのなかにいる自分を見いだすということは、２番目の素質的可能性のサイクルをマスターすれば生じます。

しかし、三面ピラミッド、四面そして五面ピラミッドその他の様々なシンボルと共に部屋のなかでワークをする間、探究者はもう一つの助けを利用する必要があります。それはいわゆる「生命の木」と呼ばれるものですが、それは「創造界の元型」以外の何ものでもありません。それは天上人によって創造界および「生」の現れに与えられた「創造のセル」です。

この「生命の木」の一番上には大きな三角形があり、それは大宇宙的に言えば「絶対存在」を意味すると述べました。しかし小宇宙的に見るとこの三角形は肩の少し上にあると述べました。そしてその中には人間の頭があります。実際には、二つに分かれている下向きの三角形が頭に相当します。この大きな三角形には四つの小さな三角形がありますが、下向きになっているのはこの三角形だけです。縦の線で二つに分割された三角形は、脳の両半球を意味します。

大きな三角形の底辺から長方形ができており、長方形の上の線は大きな三角形の底辺と重なっています。その長方形には左右２つの肺があります。

前回のレッスンで述べたように、この大きな三角形において神の黙想が行われており、それは創造界と現れに非常に近いものです。そしてこの神の黙想のなかに様々なイデアを通じてそれ自身から微細な部分を閃光のように発している「スピリット・モナド・セルフ」を見いだすことができます。この長方形以前は、神の黙想は全体的でしたが、この長方形においてはそれら全ての「スピリット・モナド・セルフ」は動きを取ることを「決意」したのです。つまり、動きのなかで創造と現れという実際の動きに参加します。

そしてこの長方形のなかにもう一つの大きな下向きの三角形が部分的にあります。この長方形では火花、稲妻のような無数の様々な色の輝きを見ることができます。しかし、その動きはとても速いので理解することができません。そのスピードについて行くことは不可能です。そしてその色は銀色に非常に近い色ですが、その中に動きがあります。

そしてさらに下に下がっていくと、もう一つの長方形があります。それは前の長方形と全く同形です。この２番目の長方形の真ん中に前の長方形から始まった下向きの三角形の頂点があります。この三角形と一番上の三角形は底辺を共有しており、同一形であり、唯一の違いは向きが180度違うということです。

この下向きの大きな三角形は何を意味しているのでしょうか？「絶対存在」がそれ自身のなかで、実際神の黙想のなかでそれ自身を現しているのです。そして「汎宇宙的キリストロゴス」があります。なぜなら、「絶対存在」がそれ自体のなかで自らを現しているのが「汎宇宙的キリストロゴス」だからです。この２番目の長方形のなかには小さな４つの三角形があります。それらの頂点は下向きの大きな三角形の頂点と同じです。

さて、絶対存在である一番上の大きな三角形のなかにある小さな下向きの三角形の底辺の真ん中から始まっている下向きの直線は、さらに下降して２つの長方形を二つに分けており、その結果小さな同形の長方形が４つ出来ています。それについては将来話しますが、それらは実際素質的可能性を提供しています。それによって現在のパーソナリティーがゆっくりと徐々にその不定形の諸体を再形成できるようにです。

さて、下の長方形の下の水平な線ですが、それは脾臓と肝臓がつながることによって形成されています。そしてその線から下へともう一つの大きな三角形が形成されており、その三角形の頂点はいわゆるクンダリーニ、いわゆる人間の生殖器官と一致しています。勿論、探究者はこのポジションには決して触れません。それは完全に聖霊の監督下にあります。その唯一の目的はこの実存のバイブレーションのなかにいる人間のためのもの、言い換えれば物質だけのためであり、それ以外の何ものでもありません。それはそれ以外のどんな目的にも奉仕しません。

ですから他の２つの大きな三角形（アウタルキーにある絶対存在を示す三角形、そしてもう１つはそれ自身のなかで、神の黙想のなかで、つまり創造界と生の現れのなかでそれ自身を現している絶対存在を示す三角形）と同一の三角形があります。

さて、この３番目の三角形は何を示しているのでしょうか？中宇宙的にはそれは実存の諸世界を示し、大宇宙的にもそうです。しかし、小宇宙的にはどうでしょうか？それは現在のパーソナリティー、様々な実存の諸世界にいる現在のパーソナリティーを意味します。そしてこの三角形のなかには小さな三角形があります。この小さな三角形はすぐ上の長方形のなかの小さな２つの三角形と同形です。そしてこの三角形は長方形のなかにある上向きの三角形（それは頂点は汎宇宙的キリストロゴスを示す大きな下向きの三角形と頂点が同じです）と底辺を共有しています。

さて、この三角形（＊下向きの三角形）からホワイトブルー（＊水色）の光が輝いています。それは非常にクリヤーで輝いています。上の長方形からはホワイトピンクの光が輝いています。そしてその上の三角形からは銀色の光が輝いています。ですから、　　　　　　銀色、ホワイトピンク、ホワイトブルーの光があります。そしてこの生命の木の回りには、勿論小宇宙的に言えばあなたの体の回りには、アウタルキーにある絶対存在の三角形の底辺と辺を共有している長方形のなかの色と全く同じ色が見えるでしょう。

ですから、この創造のセルの周囲の色は一番上の大きな三角形と同じ色をしています。唯一の違いは動きがあることで、その動きは現れの様々なイデアに入ったそれら全ての「スピリット・モナド・セルフ」を意味します。なぜなら、その動きはそれを意味しているからです。ですから、「創造のセル」の周囲には全く同じ輝きがあります。そして勿論前回のレッスンで述べたように、生命の木を正確にそのままあなたの諸体に当てはめてください。身体に置いたとき、均衡が同じでなくても構いません。あなたがすべきことはあなたの肉体の様々な器官に基づくのではなく、これ（＊生命の木）に基づいてあなたの想像力を使うことです。その理由はこのプロポーション（＊生命の木の図の釣り合い、均衡）の背後には法則があるからです。色はそれほど重要ではありませんが、プロポーションが非常に重要です。それでは続けましょう。

それではエクササイズとして続けていきます。

**エクササイズ**

静かに座って目を閉じ、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白に包まれた自分を見て、自分の境界を感じます…あなたの肩の少し上にとても大きな金色の三角形を創造します…金色の光はあなたの頭を完全に被っており、あなたの頭はそのなかにあります…それには厚みがあり、その厚みはその光、輝きです…それはたんにあなたの顔の上にあるのではなく、そこには厚みがあります

…それではその底辺から次の長方形を創造します…あなたの心臓はその長方形には含まれていませんので、心臓にはフォーカスしないでください…この長方形は２つの肺をつなぐことで形成されます…この長方形のなかには銀色の光があり、そこには動きがあります…それは様々な異なった色の光の無数のスパークの結果です…そこには深さもありますが、それにアプローチすることは不可能です

…それでは次の長方形を長方形を創造します…２つの肺から下へと肝臓と脾臓があります…この長方形の中心には心臓があります…心臓はこの長方形から鼓動しています…この長方形のなかにはホワイトピンクの光があり、それは非常に輝きのあるホワイトピンクです…

肝臓と脾臓から下にもう１つの大きな三角形があり、その頂点はクンダリーニあるいは生殖器官に触れています…この三角形からはホワイトブルーの輝きが出ています…非常にクリヤーで輝きのある色です…これでセルは完了しました

…このセルの周囲には創造界と現れが生じる前の神の黙想が行われている長方形（＊上側の長方形）と全く同じ色の光が輝いています…それは銀色です…そこには動きと深さがあります…あなたの現れの諸体がこの形を取ることを願います…あなたの現れである諸体は肉体ではありません。

私たちは常に絶対である主、その聖性に抱かれています。

Ｑ：三角形はピラミッドとして見るのでしょうか？

Ｋ：違います。前回のレッスンでも述べましたが、これらの三角形は「生の諸世界」のなかであらゆる現れを互いにつなげています。それらは全て全く同じであり、それらがどのイデアを通じて創造界でそれ自身を表現していようとも、生の特質を完全に現しています。これら全ての三角形は汎宇宙的キリストロゴスによって生かされ、活性化されています。それゆえに、今このポジションでは天上人の現れある、と述べているのです。フォームを提供するのは実際に天上人であり；そこから様々なバイブレーションにおける人間のフォームが生じ、肉体のフォームですら「創造のセル」に正確に基づいているのです。そして過去のレッスンで述べたように、「生」が創造界において完全にその本質を表現するには、マインドの様々なバイブレーションを使用しながら、このフォームを使う必要があるのです。

さて、「生」はいつこの手段を使用するのでしょうか？人間のイデアに関しては、実存の諸世界のなかで、現在のパーソナリティーの諸世界においてのみ使われます。実際、「生それ自身の諸世界」においてはマインドは何も提供しません。これらの諸世界において様々なイデアを通じた「生」の間にはどのような違いがあるのでしょうか？プログラミングはイデアとしてのみです；言い換えれば、異なった様々なイデアは何を経る必要があるのでしょうか？何を経るのでしょうか？その結果として神の黙想の仕事が達成されるために。様々なアークエンジェルのオーダーがあるように、人間のイデアを通じて様々な「モナドとしての魂のセルフ・エピグノシス」があります。さらにまた、それについて何もわかっていないその他多くの現れがあります。現れは何に奉仕するのでしょうか？現れの低次のバイブレーションにおいて、人間のイデアのためにです；そしてそれらのイデアのなかにはいわゆる座天使（＊天使の９階級の第３位）もあります。「調和のイデア」もあり、それはある「Logiis」を受け持っています。

Ｑ：一番上の三角形、つまり金色の三角形から五芒星まで伸ばすと、金色のエネルギーがその星を一番上の三角形までつなげているように見えます；それには何か意味があるのでしょうか？

Ｋ：それは「生のアベニュー」（＊大通り）です。それは私たちが実際にそこからスタートしたまさに一番下まで行きます。ですから、それは一番上からスタートし、それはアベニュー、主のアベニューです。主は「私は道であり、私は生であり、私は真理である」と言いましたが、人間が帰還のために取るべき道はそれであり、それ以外の道はありません。人々のなかにはそれを「Logoの道」と呼ぶことを好まない人もいますが、それはまた別です。しかし、人が部屋から出て大きな四面ピラミッドの中に入る時には、一つの道つまり主の道しかありません。

Ｑ：中央を昇る金色の道、もしそれが帰還の道であるなら、図の端を囲んでいる他の道の目的は何ですか？

Ｋ：それらは下降であり、勿論その道を上に昇ることによって、サイコノエティカルな上昇の結果として自動的に現在のパーソナリティーは上昇が始まり、両サイドをマスターし始めるでしょう。しかし、前に述べたように、生命の木の一番下のセンターのポジションから五芒星のポジションまで、それは現在のパーソナリティーが３番目の素質的可能性のサイクルさえもマスターしなければならない、ということを意味します。勿論、２番目のサイクルをマスターしたからといって自動的にこのアベニューに入ったということではありません。ある程度時間が必要となります。

主のアベニューに入るにはガブリエルがコントロールしているドアーを通過しなければなりません。勿論それは現在のパーソナリティーがこのサイドの本当の梯子を昇り始めるということを意味しません。たとえその人が私達が今行っているようにそれを練習し始めたからといっても、まだまです。この真のワークはその人がここにいる時、つまり「生」から多くを表現し始めることによって、エゴの様々な側面を殺し始める時にスタートします。なぜなら、このサイドには10のステップ、エゴの10の側面があるからです。そしてこちらのサイドでは14のステップがあり、各ステップは現在のパーソナリティーが「生それ自体」からより多く、さらにより多くを表現し始めることを意味します；つまり様々なアークエンジェルのオーダーと同調する、そのアークエンジェルのヒポスタシス（＊状態）をより多く、もっともっと表現することです。

そして勿論、現在のパーソナリティーがこのポジションに到達すると、人間は自分のアークエンジェル的状態を完全に現すようになります。他の全てのアークエンジェルのオーダーとは異なった、ひとつのアークエンジェルとなるのです。しかし人間は他の全てのアークエンジェルが表現していること全てを現すようになるのです。なぜなら、人間はプログラムされたセルフ・エピグノシスではないからです。しかし各アークエンジェルのオーダーには特定のやるべき仕事があるので、そのセルフ・エピグノシスはプログラムされています。

ですから、大宇宙的な実存の諸世界（＊現象の諸世界）があります。中宇宙的にはここ、今私たちが立っているポイント、つまり惑星地球です；他のポジションは月であり、勿論このポジションは他の全てに生、生命を提供する太陽があります。なぜでしょうか？　それはここから、絶対存在の位置からです。勿論、私たちが本当に興味を抱いているのは小宇宙です；ワークは小宇宙的に行われます。なぜなら、このフォームに従って不定形の諸体を再形成したいからです。皆さんは両手、両足をこの形、創造のセルの上に見いだすことはないでしょう。両手、両足は肉体だけが必要としているのであり、高次のバイブレーションの「生」はそれらを必要としません。

動きはここからです。考え、何であれ欲しいと思うものは得ることができます。手で取る必要はないのです。そしてこの肉体が築かれるためにさえ、真に使用されるのはこの部分、実際の「生」の現れを意味する部分です。実際に現されているのは頭と背骨です。そして精子があります。そして「生」が物質、肉体を身に纏うためには卵子が必要です。そして後に聖霊によって肉体が築かれるのです。

Ｑ：精子と言いましたが、「生命の木」でそれを示している箇所がありますか？

Ｋ：それは三角形としての頭です、また背骨は中央のアベニュー（＊中央の道）です。

Ｑ：それでは卵子はどうですか？

Ｋ：卵子ですか？それはここ、それは地球です。「生命」が物質のなかに入りますが、それはここ、リンゴです。ここに人間に、アダムに与えられたリンゴがあります。

Ｑ：地球、月、そして太陽が示されていると言いましたが、そこにはまだ６つの他の球があります。それらは太陽系の他の惑星を意味するのでしょうか？

Ｋ：そのとおりです。

Ｑ：チャートに関してですが、究極のリアリティーにより近いところにあるという意味でのヒエラルキー（＊階級）があるのでしょうか？

Ｋ：そうです。それぞれが一つのパワーを意味しますが、しかしそれは現在のものではありません。繰り返し言いますが、クンダリーニは小宇宙的には生殖器官に相当しますが、それは決して触れるべきではありません。クンダリーニに触れた人々は、自分たちはあれやこれに成功したと言いますが、それはイリュージョン以外の何ものでもありません；実際、なぜならこのエネルギーは上には行かず、下に行くでしょう。なぜならそれは聖霊の支配下にあるからです。もしあなたが意識を上昇させなければ、もしあなたがあなたの本来の自己に同調しなければ、言い換えるなら、様々なアークエンジェルのオーダーに同調することによってもしいわゆるヤコブの梯子を昇り始めないのなら、いかにしてあなたはそれを正しい位置に置くことができると言うのでしょうか？

Ｑ：私たちが無知のなかにいる時に、このもう一つの創造物を使って瞑想する時、確かに私たちは正しい方向を向いていません；それはどのような影響をもたらすのでしょうか？

Ｋ：いいえ、あなたがすべきことは、あなたが立っている、あなたの肉体が立っているのと同じ仕方で視覚化することです。私たちは他の全てのワークなどと共に、正しい位置に置こうと努力するのです。

Ｑ：五芒星の位置は武道で使われるセンターと一致するように見えるのですが、それは実際に肉体のどこに位置するのでしょうか？

Ｋ：五芒星はヘソの位置です。そこは「生命」が肉体に合体するところであり、肉体上で「生命」との最も重要なつながりです。それゆえにボクシングではヘソにパンチを打ち込むことが禁止されているのです。そこにパンチすることで簡単に相手を殺すことができます；なぜでしょうか？頭にパンチしても問題ないの、何故でしょうか？それは許されていません。その部分には沢山の内臓器官があるわけではないのですが、それは最も繊細な部分です。それはまた肉体の健康を左右するセンターでもあります。それは肉体の健康を示す不定形の体が本来あるべき場所です（勿論、他の２つの体を再形成した時のことですが）。それは現在のパーソナリティーです。

Ｑ：ヘソと心臓の間にある十字は何なのでしょうか？

Ｋ：これですか？これは実際に太陽神経叢ですが、一般に呼ばれている太陽神経叢ではありません。この太陽神経叢はこれであり、太陽です。これら全ては輝いている太陽であり、人類学者や医師たちが太陽神経叢と呼んでいるのはこれであり、それは横隔膜です。しかし、私たちにとって、エレブナにおいて私たちが太陽神経叢と呼んでいるのはこれです。

Ｑ：「生命の木」に描かれている赤とバイオレットの色、それらの色は私たちがワークしたでしょうか？

Ｋ：違います。この図にあるそれらの色は両サイドの２つの柱を受け持つものからの色です。ミカエルのオーダーはこの柱を受け持ち、もう一つはラファエルの0オーダーです。

前にも述べたように、色はそれほど重要ではありません。勿論、それらは「正しい」ものに近い色であるべきですが；正しいとは何でしょうか？何が正しいか、私たちはいかにして解釈できるのでしょうか？それぞれはその人の認識のレベルによります。たとえ同じ色を見ていても、各人はそれについて異なった認識をします。しかし、何よりも重要なのはプロポーション（＊身体のどこに相当するかの釣り合い）です。

EREVNA SPA 73/2000F7 SPA73/6END

レッスン:SPA　N0.74

テーマ：創造のセルと生命のスパーク

SPA No.74 KE/00/.F8

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前回のレッスンでは「生命の木」と呼ばれる「創造界の元型」をいかにして自分の身体に置くかについて話しました。一番上にある大きな三角形は肩の少し上に置かれ、この大きな三角形は小宇宙的に言えば現在のパーソナリティーを活性化して生かす「生」のスパークを、現在のパーソナリティーとしての人間とその源とのつながりを意味します。大宇宙的に言えば、この三角形はアウタルキーのステートにある「絶対存在」を意味し、非常にクリアーな金色の輝きを放っています。

その三角形の下の長方形は現在のパーソナリティーにとってはそれほど重要ではありません。それは人間のみならず「生それ自体」にとっても近づきがたいものです。なぜなら、その長方形のなかでは「創造界」と「現れ」のために特別な神の黙想が行われており、誰もその神の黙想のなかで自分を表現しながらそこに入ることはできないからです。

次の長方形は「生それ自体の諸世界」、つまり元型・イデア・法則・原因の諸世界を意味します。そしてそれは現在のパーソナリティーにとって非常に重要なものです。その長方形の真ん中には前に述べたように聖なるセンターがあります。それは中宇宙的に言えば私たちの太陽系にとっての「生」の源を意味するからです。そして勿論小宇宙的に言えば、それはハート（心臓）の聖なるセンターに相当します。それはその鼓動の結果として肉体を生かしています。

心臓はその鼓動をどこから得るのでしょうか？それは「生」のスパーク、「生それ自体」からです。しかし、「生」は肉体とどこでつながっているのでしょうか？何処でしょうか？それは肉体のあらゆる所からです；しかし、源と直接につながっている特定の器官があります。

過去に、サイコノエティカル体はシルバーコードによって肉体とつながっていると説明しました。このシルバーコードがつながる特定の場所があるのでしょうか？特定の場所でつながっていると信じている人もいますが、答えはノーです。シルバーコードがつながる場所は、サイコノエティカル体が肉体から出る方向に応じています。サイコノエティカル体が肉体のなかにある時には、あらゆるポイント、場所でつながっています。勿論、それを理解するのは非常に難しいことですが。もしあらゆるポイントでつながっているのなら、その体が肉体の外に出る時、いかにしてシルバーコードでつながるのでしょうか？肉体のなかにある時にはシルバーコードはありません；サイコノエティカル体がたとえ一部分でも外に出る時にのみ、シルバーコードによって肉体とつながるのです。

さて、心臓の鼓動についてですが、いかにして鼓動は生じるのでしょうか？勿論、人間はそれについて発見し、それを利用していますが、しかしそれが一体どこから来るのかを説明することはできずにいます。しかし、それは電気の放電以外のなにものでもないのです。その電気はどこから来るのでしょうか？いかにして、そしてどこから肉体に電気が来るのでしょうか？現在のパーソナリティーの他の体に電気はあるのでしょうか？私たち自身が電気の源なのでしょうか、あるいはどこかよそから来るのでしょうか？

No.2

答えはその両方です。なぜなら、私たちは電気の源であり、同時に磁気の源でもあるからです。何であれ宇宙にあるものは私達のなかにもあるのです。そして心臓の鼓動、それは電流の放電の結果です。

現在のパーソナリティーにとって、この長方形はとても重要です、特にバイブレーションが肉体のバイブレーションのなかにある時には。この長方形は非常に輝いているクリアーなホワイトピンクの光で輝いています。さて、肉体の器官のなかにはこの元型と完全に一致しないものもありますが、それはそれほど重要ではありません。なぜなら、この元型が意味するものは法則であり、人体に与えられる正確な形ではないからです。人体は「人間のイデア」とアイデンティカル（＊同一）ですが、それは「人間のイデア」の形のことではなく、「人間のイデア」を存在させ、実存させるのは法則なのです。つまり、背後には法則があるのです。

次は下向きの大きな三角形で、それは実存の諸世界における現在のパーソナリティーを示しています。そして創造の法則の元型としてのこの形があります。なぜならそれは法則、あなた自身の内側における創造の大きな法則だからです。そして今、それはあなたの諸体を再形成するようにあなたを引き寄せています。なぜなら現在のパーソナリティーの諸体は再形成する必要があるからです。そしてこの法則はその方向に向けて助けるために、それ自身のなかにあらゆる可能性を有しています。そして前にも述べたように、気づきの上昇、現在のパーソナリティーをマスターするのを助けるために現在のパーソナリティーに提供されている他のあらゆる助けはこの「創造の元型」のなかにあります。そしてこの元型は宇宙に対して、宇宙が存在し、実在するために何であれ必要なものを、そしてマインドという手段を使用して何であれ必要な現れを提供します。なぜなら、マインドはいかなる現れ、そして「生」の現れによって使用されるフォーム、形を帯びるからです。そしてこのフォームに従って、「生」がその本質を完全に現しているもの、あるいは「生」の本質を不完全に現しているものがあります。

ですから、「生命の木」は人間にとって非常に重要です…現在のパーソナリティーとしての人間であれ、あるいは「魂のセルフ・エピグノシス」としての人間であれ。勿論、「魂」にとってはすべきことは何もありません。なぜなら、「魂」は「生」の本質を完全に表現しているからです。

さて、前にこの２つの長方形のなかに他の２つのより小さな形があると述べました。１つの長方形は表現と創造のための特定の聖なる黙想が行われており、もう一つの大きな長方形は「生それ自体の諸世界」を示しています。これら２つの長方形はそれぞれ２つに分割されます。ですから、４つの小さな長方形があり、それらはどれも同じ形であり、それらはどれも素質的可能性のサイクルを提供しています。この形のなかの全てにはその目的があり、特に均衡です；それらの色はそれほど重要ではないが、均衡が重要です。幾何学的均衡はまた数学的方程式を与え、それらの方程式は不動の諸法則を示しています。勿論、私たちがそれらの法則に触れる前に、行い、言うべきことがたくさんあります。

「生それ自体」の長方形のなかには４つの三角形があります。ペアになっているのが２つあります。そして１つのペアのなかにはもう一つの三角形があり、それは現在のパーソナリティーの大きな三角形のなかにあり、それはペアになっている他の２つと同じ形です。それは「生それ自体の諸世界」の大きな長方形のなかにあるペアであり、その三角形は他の２つと同じ形です。

実存の諸世界のなかにあるこの三角形、そして小宇宙的にこの三角形の頂点にアプローチすると言うこと、それは現在のパーソナリティーが何に到達したことを意味するのでしょうか？３番目の素質的可能性のサイクルをマスターしたことであり、その瞬間から大きなミステリーが始まります。それは「ロゴスそれ自身」によって現在のパーソナリティーに向けて行われます。いわゆる「超意識のセルフ・エピグノシス」の始まりです。「火の洗礼」の始まりです。

なぜそうなのでしょうか？なぜなら、２つの三角形は同一形であり、底辺が共通だからです。それらの底辺は、現在のパーソナリティーが到達した時には、現在のパーソナリティーが自己実現に到達し、最初の磔に到達したことを意味します。さらにまた、現在のパーソナリティーはいわゆるキリスト意識に到達したことを意味します。現在のパーソナリティーは他の全ての同胞を抱きしめる等、主が現しているたくさんのことを現し始めるでしょう。

Page3

勿論、現在のパーソナリティーがマスターしたこの三角形はそのようには留まらず、下の方に留まります。そしてそこにあることで、現在のパーソナリティーは転生のサイクルを継続し、原因・結果の法則の下に留まり、その結果を被ります。なぜなら、もしこの三角形が「生成発展」と共に進むなら、現在のパーソナリティーは戻って転生のサイクルを続けることをせず、自動的に現在のパーソナリティーは「魂のセルフ・エピグノシス」として「生それ自体」のなかに同化してしまうことでしょう。言い換えれば、「永遠のパーソナリティー」のなかに入り、自動的に「永遠のパーソナリティー」は「魂のセルフ・エピグノシス」としての元来のカラーを帯びることでしょう。

ですからこのポジションは小宇宙的には前にも述べたように太陽神経叢に相当し、中宇宙的には月に相当します。勿論、もし大宇宙的に分析するなら、この「生命の木」の各ポジションは太陽系その他に相当します。そして小宇宙的に言えば、「生命の木」の一番下のポジションは肉体のクンダリーニに相当し、それは完全に聖霊の監督下にある聖なるセンターです。それはそのままにしておき、私たちは決して触れるべきではありません。なぜなら、そのセンターは物質においてのみ使用されるべきだからです。実存の諸世界の他の２つの世界においてさえその目的はありません。聖霊はこのポジションから肉体を築き、維持します。もし私たちがそれに干渉すると、全体の構造にアンアランスを生み出すことになります。

そうです、このポジションは中宇宙的には私たちの地球に相当し、特に人間が惑星である地球の諸エレメントから出来た身体を使っている間は。ですから、小宇宙的にはクンダリーニ、中宇宙的には現在のパーソナリティーが肉体を使用している間は地球を意味します。

大宇宙に戻ると、銀河のなかの太陽系はこの（＊？）ポジションであり、全体の構造があります。この構造は私たちの身体のなかにあり、この構造をまとっているのです。ですから探究者はまず初めにできるだけ詳細に創造すべきです。勿論、重要なのは形であり、今のところ詳細はそれほど重要ではありません。繰り返しますが、色はそれほど重要ではありません。なぜならあなた方各人はそれぞれの色を異なって解釈するからです。しかし誰でも形は同じであるべきです。形は解釈という部類ではなく、「生命の木」はあなた方に与えられたのと同じ形であるべきです。

それではこれからエクササイズをします。このエクササイズには一つの目的があり、それはこの形、この「創造界」の形のなかに入るのを助けることです。

この形、フォームは五芒星のようなシールドとは違います。別の目的があり、それは現在のパーソナリティーが不定形の諸体の形を再形成するのを助けることです。実際、あなた方がゆっくりとタッチしているのは「創造界それ自体」を支えている様々な法則なのです。そしてこの法則は最大のためのものであり、最小のためのもの、そして神の黙想の活動のなかの全てのもののために働いています。なぜなら、何回も述べたように、聖なる神の黙想はアウタルキーの状態であり、それは「絶対存在」のなかにあり、実際そこで活動しているのは「絶対存在」であり、それは「神」です。なぜなら、私たちは「黙想」と「黙想している人」を分けることができないからです。

レッスンSPA/74 エクササイズ１

目を閉じて静かに座り、こころを騒がせるもの全てを解き放ちます…純白に包まれている自分を見て、自分の形の境界を感じます…あなたは自分が今どこにいるかを完全に気づいています…あなたの現れの限界を意味する部屋のなかに自分がいることに完全に気づいています…人々はそれぞれ自分の部屋にいます…霧のようなものがあなたを取り囲んでいるので、あなたははっきりとクリヤーに見ることができません…霧がかかったホワイトブルーの光がありますが、もやがかかったような状態なので身体から先がよく見えず、部屋の壁がどれほど離れた所にあるのか見えません…壁が見えず、四方の壁から来る光さえも見えません…あなたは真っ直ぐに前方を見ます、このもや、霧のなかでも先が見えるように努力しています…

努力の結果、徐々に少しづつ先が見えるようになります…四方の壁からそれぞれ異なった光が部屋に放射されているのが見えてきます…しかし、今あなたの前に一つの状態があるのに気づきます、それは初めははっきり見えないのですが次第にクリアーに見えるようになり、それがフォームを伴った「創造界の元型」であることがわかり、その元型のそれぞれの部分から異なった色の輝きが出ているのが見えます…一番上の大きな三角形からは金色の光が輝いています…その下の長方形からは銀色の近づきがたい輝きが放たれており、その中には無数の様々な色のスパークがあります…

その下の長方形からは非常に明るいホワイトピンクの輝きがあります…そして、最後に下向きの大きな三角形があります…それはホワイトブルーに輝いています…これであなたの前には「創造界の元型」が完全に見えています…

今、完全な形を帯び、様々な色に輝いているフォームが目の前にはっきり見えています…このフォーム、状態はあなたから３歩離れた所にあります。

それでは右足から一歩前に進み、そのヒポスタシス（＊この場合元型のこと）に一歩近づきました…それでは次に左足から一歩前に出て、これで２フィート（＊60センチぐらい）近づいたことになります…段々近づいて今は目の前にあります…また右足から一歩前に進み、あなたは今このヒポスタシスの中に入っています…あなたは様々な色のなかにいます、大きな三角形は肩より少し上にあり、あなたの頭はこの金色の中にあります…この大きな三角形を感じます…そして次に銀色の長方形がありますが、重要なのはその下の長方形であり、それは非常にクリアーなホワイトピンクに輝き、その中心にあなたの心臓があります…あなたの心臓が脈打っているのは「生それ自身」のスパークの結果であり、それが現在のパーソナリティーを生かしめています…そして今、あなたは同時に下向きの大きな三角形のなかにいることがわかります…それは非常にクリアーなホワイトブルーに輝いています…今あなたは「創造界の元型」、つまり「創造のセル」、「創造の法則」のヒポスタシスを身にまとっています…あなたの現在のパーソナリティーの諸体が正しい形を取ることができるように、「生それ自身」の特質を完全に表現できる形になるように、この「法則」が助けてくれるように願います。

現在のパーソナリティー全体の健康を願い、アガピ、最愛のお方があなたと共に、あなたの愛する人々と共に、そして世界全体と共にあることを願います。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

終わります。

質問：あなたは前に私たちは何も知らず、ただ「生」の源からの同調だけであると言いましたが、あなたが数学的方程式について話すのはとても不可思議に思えます。あなたは非常に正確なサイズを教えるといいましたが、どういうことですか？私たちが話しているそれらの状況のなかでは意味というものはありません；宇宙は超数学的であり、私たちにとってこの手段を通じてそれを理解するのは不可能です。

Ｋ：だから私はずっと後になって、と述べたのです。科学は原子核にアンバランスを生み出すことに成功しましたが、それは数学の方程式の結果ではないでしょうか？勿論、そうです。

Ｑ：しかし、私たちはもう一つのリアリティーについて述べているのであり、科学が触れているリアリティーについて述べているのではありません。

Ｋ：創造界の全ての法則の背後に、私たちは人間の助けとなるあらゆる手段を発見することでしょう。1＋1＝２　は数学のある法則における能力ですが、それと同じように様々な法則においても能力があります。

さて、このセルにおいては、創造界の全ての法則は最大の法則から来ています。それゆえに人間は数学を使用することによって原子にアンバランスを創造する方法を発見することに成功したのです。言い換えれば、原子を「実在し、存在する」ステートに留めておくものを混乱させたのです。

勿論、人間が原子、あるいはもっと大きな構造物をそのままに維持している仕組みの詳細に触れるなら、人間の無知ゆえにそれは非常に危険なことになります。あらゆる本物の神秘家たちは科学者がスタートする前に既に原子について知っていました。勿論詳細にではありませんが、その当時知ることができたことを知っていました。なぜなら、もしあなたが最小について学ぶなら、それはまさしく最大について勉強し、学んだのと同じだからです。

Ｑ：しかし私たちが何も知り得ない領域があるとあなたは言いましたね…。

Ｋ：私たちは大宇宙的には何もわかりません。しかし中宇宙的、そして私達の実存の身体について、そしてコスモスの全構造がどのようにして機能しているのかについては知ることができます。なぜなら、最大のものを司っているものは最小をも司っているからです。たとえ経験的知識がなくても、それがどうなっているのか知ることができるのです。

もし私たちが実存の諸体をマスターするなら、その自己実現した現在のパーソナリティーは何らかの経験的知識を味わい、体験することができますが、そうしないでしょう；しかし、創造界全体に関してすらそうなっているのに疑いはありません。

それゆえに、ギリシャやエジプトの哲学の学校のモットーは「汝自身を知れ」だったのです。なぜでしょうか？ギリシャには12の神々がいて、それらは構造を意味していました。そして哲学の学校はそのフォームに従って現れを形成することを目的としていました。不幸にも、または幸いにも、私は「不幸にも」とは言いません…なぜなら彼らはまだ準備ができていなかったからです…彼らは幸いにも、どうしたらよいかを深く知らなかったのです。しかし、数人の内側から放射されていたので、そのフォームでワークをするなら他の人間達にたいして無条件の愛を人々が現すのを助けることができることを知っていたのです。それが古代ギリシャの様々な哲学の学校の目的でした。

だからこそ彼らはその時代に民主主義を発展させたのです。彼らは多くの人権を伴った文明を育てましたが、何故でしょうか？なぜなら、彼らは多くではありませんが、いくらかこのフォーム、構造について知っていたからです。少数の人々の信仰は一神教であり、彼らは一なる神を信じていたのです。

それゆえにエレウシスの秘儀の生徒であり、サイコノエティカルの高いレベルに到達した聖ピリポ（＊イエスの12使徒の一人）は、イエスが教え始めた時にイエスを尋ねたのですが、ギリシャ人達が敬意を表するために来たとイエスに伝えた時、イエスはその男の名前は褒め称えられる、と述べたのです。何故でしょうか？なぜなら、聖ピリポたちはギリシャの哲学の学校を代表していたからです。

Page6

最初にイエス・キリストに挨拶に来たのは三賢人として誕生の時に訪れたペルシャ、イラン、そしてインドの哲学の学校の代表者たちでした。２番目にイエスに表敬するために訪れたのはエジプトの様々な高僧たちで、それはイエスが12歳になるまで守るためにエジプトの寺院に連れていかれた時のことでした。３番目はギリシャ人たちで、それによって「霊的な人」の三角形が完成したのです。

しかし、その三角形の中心は偶然ではありませんでした。イエス・キリストはその中心で生まれたのです。なぜなら、その中心は既にモーゼによって準備されていたからです。ユダヤ人たちは最後に準備されたのです…何千年も前にエジプト人、ペルシャ人、そしてインド人たちはすでにモーゼよりもかなり前に人類のために教えていたのです。

Q：あなたは肉体はあらゆる所から生のスパークによって活性化されると言いましたが、それは私にとっては各細胞は同じ絶対知性を分かち合うことを意味します。しかしあなたはまた直接につながっている器官がある、と言いましたね。私にはそれが理解できません。

K:そうです。例えば心臓を例に取りましょう。心臓の鼓動は電気、電流のスパークの結果です。この電流、電圧は計測可能です。電圧に関してはもしアンペアが高ければ害になります。さてこの電圧はどこから来るのでしょうか？物質として肉体から来るのでしょうか？答えはノーです。それは「生それ自身」から肉体に与えられるのです。誰がそれをコントロールするのでしょうか？サイコノエティカル体ですか？違います。それはサイコノエティカル体さえも活性化するそのスパークです。このスパーク、それは原因・結果の法則とつながっているのですが、そのスパークがその法則と連携して、この現在のパーソナリティーはもはや肉体に留まってもなんの役にも立たないと決断すると、心臓の鼓動は止まります。

Ｑ：それではスパークにはこの電気があると言うのですか？

Ｋ：そうです。それはスパークによって与えられます。セラピーの時に何が起こりますか？たくさんの電気、放電としてたくさんのエネルギーがあります、特に非物質化の時に。誰が非物質化を行うのでしょうか？肉体ですか？サイコノエティカル体ですか？違います。サイコノエティカル体はそれを通じてこのワークが行われる手段です。それゆえにこそ、スピリチュアル・ヒーリングを行っている時には、誰も誰それが行っていると主張することはできないのです。なぜなら、それを行っている最中にたくさんの電気、５万、６万、10万ボルトという電気放電が継続的に続きます。もしヒーラーがグラウンディングしていなかったら、骨が互いを溶かしてしまうことでしょう。非常に多くの電気があります。なぜなら、エネルギーの流れが電気となり、同時に磁気が生み出されます。なぜなら、もしあなたがその時に自分の肉体の手を使うなら、その時この電気の流れが骨を通っているからです。

勿論、常に静電気がありますがそれは全く別問題です。私達の肉体には常に静電気がありますが、私はそれについて述べているのではありません。動きがある所にはまた電気があります。そうです、肉体にもそれ自身の電気があります。なぜなら、全ての細胞、全ての原子の中には動き、活動があるからです。しかし、それは別の事柄であり、私はそれについて述べているのではありません。私たちは現在のパーソナリティーと肉体をつなぐ電気について話しているのです。それによって肉体は機能し、生きていることができます。

Page7

Ｑ：電気を使うこれら様々な全てのセラピーは効果があるのですか？

Ｋ：そうです。特にやせるためのこの器具は効果があります。それらは脂肪を燃焼させます。様々な病気に用いる他の器具もあります。それらの器具は何をしているのでしょうか？それらは“戦っています”、色々な細胞、病気の細胞などとです。なぜなら、先ほど述べたように全ての細胞には動き、活動があるので電気があります。核の回りを電子が回っていれば、そこには電気が生じます。そしてもし流れが生じれば、様々な原子や細胞の電子が特定の方向、動きを取ります。もしＸ線の下に電気伝導体を置き、それを電気とつなげれば電子が動くのが見られます。しかしそれらは核には触れません。なぜなら核が電気的流れによって邪魔されるということは不可能だからです。原子核をそのようにするのは「法則」であり、核ではありません。

Ｑ：あなたはシルバーコードについて述べたことがありますが、それについて説明してくれますか？

Ｋ：シルバーコードとはサイコノエティカル体と肉体をつなぐものです。しかし、そのようにする原因、それは「生それ自体」です。「生」はなにを命じるのでしょうか？サイコノエティカル体は現在のパーソナリティーの現れの体であり、それは現在のパーソナリティーです。しかし現在のパーソナリティーが存在し、実在するということ、それはそれを活性化するスパークの結果です。その目的は現れをスパークと一致させることです。現在のパーソナリティーがその不定形の諸体を再形成したとき、つまり自己実現に到達したとき初めて、スパークはそれ自身を完全に現すようになるでしょう。シルバーコードが切れるということは、その現在のパーソナリティーはもはや肉体を必要としないということを意味します。

EREVNA SPA74/KE2000/F8